

共創学部 デジタル共創学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

建学の精神に則り、共創学部デジタル共創学科では、先進的なデジタル技術の知識と実践的スキルをもとに、社会における実践的な課題解決力を有し、持続可能な社会の実現に向けた変革を推進するデジタル人材の養成を目指しています。

本学科では、「デジタル共創」を教育の中心テーマとし、幅広い教養の修得、専門的知識とスキルの体系的修得、社会実装を意識した実学教育を柱として教育課程を編成しています。1 年次から 4 年次にかけてセミナー系科目を配置し、学修面・生活面・進路面に関する継続的な指導を行うとともに、大学で主体的に学ぶ姿勢、社会常識、マナー、コミュニケーション能力を育成します。

専門教育では、コンピュータリテラシー、プログラミング、データサイエンス、AI、情報システム、統計学等の科目を段階的に配置し、デジタル技術の基礎から応用までを体系的に修得できるようにしています。また、健康医療、スポーツ、ビジネス、メディアの各分野に関する共創リテラシー系科目を配置し、各分野の基礎知識や課題を理解したうえで、デジタル技術を活用した解決策を考える力を養成します。

授業では、講義に加え、演習、実習、グループワーク、プレゼンテーション等を取り入れ、理論と実践を結びつけながら学修を進めます。特に、プログラミング、データサイエンス、AI 等の科目では、演習を通じて実際にデジタルツールを活用する力を高め、各分野における課題をデータや情報技術の視点から捉える実践的な能力を育成します。

上級年次には、健康医療、スポーツ、ビジネス、メディアの各分野への応用力を高める科目やゼミナール、実習、インターンシップ等を通して、学生が自ら課題を設定し、デジタル技術を活用しながら調査・分析・提案を行う力を養います。

また、キャリアデザイン系科目を 1 年次から 3 年次にかけて配置し、学生が早期から将来の進路を意識し、主体的にキャリアを形成できるよう支援します。あわせて、Microsoft Office Specialist、IT パスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験、データサイエンティスト検定等、実務に関連する資格取得を視野に入れた学修支援を行います。

【教育の特色ある工夫】

- デジタル技術の学修を、基礎的な知識やスキルの修得にとどめず、多様な人々と協働して社会課題の解決や新たな価値の創出に活用する力の育成へと発展させています。これにより、学生はデジタル技

術を実社会の課題解決に結びつける実践的な応用力を身につけます。

- ・ 健康医療、スポーツ、ビジネス、メディアの4分野を横断的に学ぶことで、特定の専門領域に限定されない広い視野を養います。各分野の専門家や実務者の視点に触れながら、データやAI、ICTをどのように活用できるかを考えることで、Society 5.0で活躍できる分野横断型のデジタル人材の育成を図っています。
- ・ 複数教員による授業や、異なる専門分野の教員との連携を取り入れ、学生が多様な専門性に触れながら学べる環境を整えています。共創学部の教員に加え、デジタル共創学科の教員や企業等の専門家と連携することにより、最新の事例を踏まえた実践的な学びを提供しています。
- ・ 1年次から4年次までの学修を段階的に展開し、デジタル共創の基礎から専門分野への応用、ゼミナール等における実践的学修へと発展させています。これにより、学生が基礎的な知識・技能の修得から、実社会の課題解決に向けた実践へ円滑に進めるよう工夫しています。
- ・ 少人数教育を重視し、教員と学生との距離が近い学修環境を整えています。学生一人ひとりの学修状況や進路希望に応じて、学修指導、生活面の相談、キャリア形成支援を行い、安心して主体的に学修に取り組めるよう配慮しています。
- ・ 地域社会、産業界、自治体等との連携を通じて、実社会の課題に触れながら学ぶ機会を設けています。実習、インターンシップ、ゼミナール、卒業研究等の多様な学修機会を通して、課題の発見、データの活用、解決策の提案、成果の発信までを経験できるよう工夫しています。
- ・ AIやデータサイエンス等の活用にあたっては、技術的な知識だけでなく、倫理観、社会的責任、多様な立場への理解を重視しています。デジタル技術が社会に与える影響を考慮しながら、適切に判断・行動できる人材の育成を目指しています。
- ・ 資格取得支援とキャリア教育を教育課程と連動させ、学生が将来の進路を具体的に描きながら学修を進められるようにしています。資格試験対策、就職支援室との連携、個別相談、インターンシップ支援等を通じて、学生の目標達成を支援します。